

Itoshima City



第2次糸島市
長期総合計画
〔概要版〕

*2nd Itoshima City Long-term
Comprehensive Plan*

1 第2次糸島市長期総合計画の策定にあたって

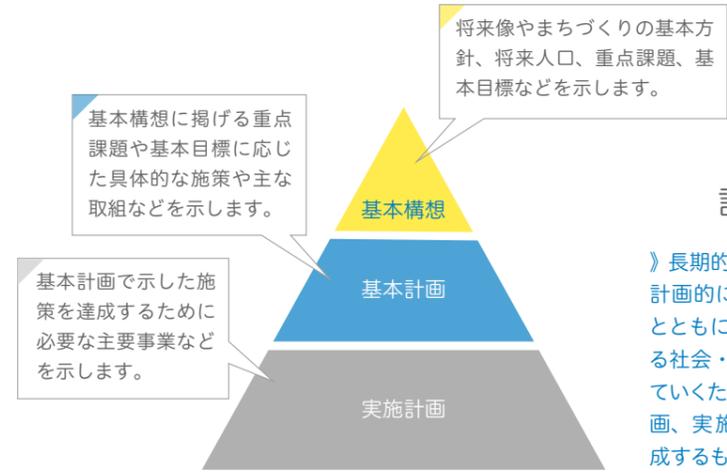
計画策定の趣旨

本市は、平成22年1月に1市2町が合併して誕生しました。平成23年3月に「第1次糸島市長期総合計画」を策定し、合併効果を発揮させながら、旧市町の均衡ある発展を目指して、総合的・計画的なまちづくりに取り組んできました。豊かな自然や農林水産物を中心とする「ブランド糸島」は、全国から脚光を浴び、また、一時は減少した人口も回復し、過去最高の人口を記録したところです。全国的に人口減少時代に突入しており、本市においても、近い将来、必ず訪れる人口減少をしっかりと見据えつつ、持続可能なまちを目指し、市民力・地域力を発揮して、「新しい時代の糸島」をつくりあげていくため、糸島市まちづくり基本条例に基づき、市の最上位計画として「第2次糸島市長期総合計画」を策定します。

計画の構成と期間

01

計画の構成



02

計画の期間

- 基本構想：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）の10年間
- 基本計画：前期計画 令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）の5年間
後期計画 令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）の5年間
- 実施計画：3年間のローリング方式で毎年更新

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)
基本構想	← 10年間 →									
基本計画	← 前期5年間 →					← 後期5年間 →				
実施計画	← 3年間のローリング方式で毎年更新 →									

2 糸島市の将来像

人とまらの魅力が輝く
豊か実感都市
いとしま



将来像

糸島市のまちづくりの規範となる「糸島市まちづくり基本条例」の前文では、『市民が誇りに思い、充実して暮らせる魅力と活力に満ちた糸島市を創る』という目標が掲げられています。また、第2次糸島市長期総合計画を策定するに当たり実施した各種調査では、本市の貴重な地域資源を生かしたまちづくりを進めることを、市民が望んでいることがうかがえます。

今後も、糸島に住むこと・訪れること自体に付加価値があり、将来に渡って誇れるよう、本市の貴重な地域資源である自然や食、歴史・文化などをさらに磨くとともに、市民一人ひとりの個性が輝き、つながり合いながら、まちが活気に溢れ、暮らしの豊かさを実感することができるよう、10年後のまちの姿として、上記の将来像を設定しました。

Look Up!

》》ごらんください《《



高校生未来会議
“いとしま”



高校生が選んだ
総合計画策定ロゴマーク



まちづくり
市民委員会
(平成 30 年)



まちづくり
市民委員会
(令和元年)

3

まちづくりの基本方針（戦略）

糸島市民の想い

第2次糸島市長期総合計画は、「糸島市総合計画審議会」をはじめ、「まちづくり市民委員会」や「高校生未来会議」「いとしま」「中学生 いとしま」未来への提言(作文)「市民満足度調査」パブリックコメント」などの市民参画の取組を行い、市民と共につくりあげてきました。その中で、市全般に対する満足度は高く、概ね現状には満足しているものの、「住みやすさや豊かさの実感」を求める市民の「潜在的な想い」が見受けられました。

ワンランク上のまちづくり（質の向上）

“ワンランク上のまちづくり”とは、行政や地域などの自立度を高めていくこと、少子高齢化や防災・減災への対応など、市民の安心感を高めていくこと、糸島の魅力をさらに磨き上げていくことにより、市民が、安心して、住み続けたいと思えるまちづくりです。そのためには、まちづくりの各分野において、“まちづくりで大切にすること”として、常にワンランク上のまちの姿(目標・理想の状態)を念頭に置きながら、行政サービス・まちづくりの“質”を高め、具体的な成果を出していく必要があります。

01

自立度の高い糸島づくり

● 将来的な人口減少や超高齢社会を見据え、「持続可能なまち」をつくるため、行政・地域・市民・企業など、それぞれが「自立度の高い糸島づくり」を行います。

02

魅力を磨き上げる糸島づくり

● 本市のブランド力のさらなる強化を図り、稼げるまちを構築するとともに、多くの人が憧れ、市民が誇りに思えるまちになるため、本市の「魅力を磨き上げる糸島づくり」を行います。

03

住みやすい・住み続けたい糸島づくり

● 防災・減災をはじめ、快適な住環境の整備や安心できる福祉施策の展開など、「住みたいまち」から「住みやすい・住み続けたい糸島づくり」を行います。

4

将来人口

将来人口の設定

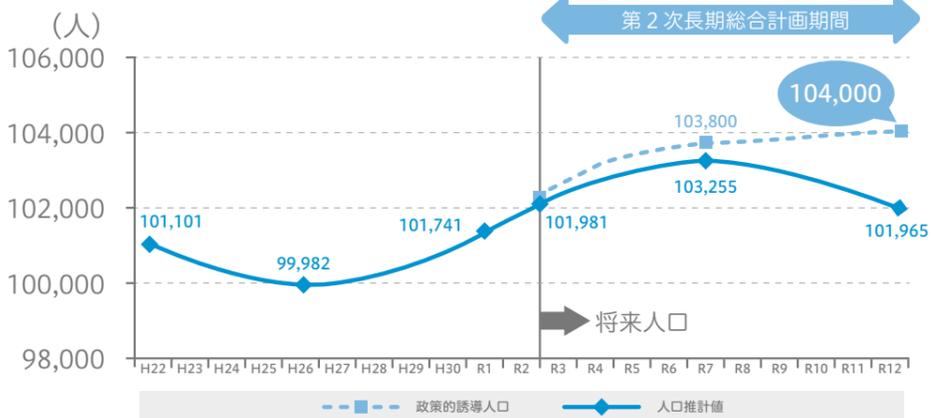
● 本市の魅力である豊かな自然環境の保全や伝統文化の継承など、地域コミュニティを維持していくには、一定の人口は必要不可欠です。

● 人口減少社会の中、単純に人口増加を目指し、それに応じた行政サービスを展開・拡大するのではなく、将来にわたり本市が「持続可能なまち」となるための人口を設定し、まちづくりを進めていく必要があります。

● そこで、推計人口に、新たな居住空間の整備や人口減少地域対策、子育て支援などにより、令和12年の政策的誘導人口の増加を2,000人程度と見込み、将来人口を104,000人に設定します。

Check

令和12年の糸島市の人口を104,000人に





まちづくりで大切にすること

子どもから高齢者まで、「地域は、与えられるものではなく、自らつくっていくもの」という意識を持ち、一人ひとりの個性が輝き、つながり合い、多様性を発揮しながら、地域の中で自分の存在価値を実感できることを大切にします。



まちづくりで大切にすること

日ごろから、災害を自分のこと、家族のこととして意識し、隣近所のことでも思いやり、これまで経験したことがない災害が起こったとしても、「公助」だけでなく、「自助」「互助」「共助」が発揮できることを大切にします。



まちづくりで大切にすること

子どもから高齢者まで多様な市民が、お互いを認め合い、世代を超えて支え合いながら、可能な限り住み慣れた地域で、個性や能力を発揮しながら尊厳を持って自律した生活を送れることを大切にします。

2. 人と人が つながり助け合うまちづくり

3. みんなの命と暮らしを守るまちづくり

4. 健康で安心して暮らせるまちづくり

まちづくりの重点課題 5

○市民が、安心して住み続けたいと思える「持続可能なまち」の実現に向けて、重点的に取り組んでいく必要がある5つの課題を設定しました。



02

防災・減災対策

task



01

子育て・教育環境の充実

task



05

超高齢社会への対応

task



04

学術研究都市づくり

task

九州大学学術研究都市構想



03

経済活性化(稼ぐ)への取組

task

21世紀の「知の時代」に相応しい地域の「知的拠点」、「知的クラスター」づくりを目指して、「九州大学学術研究都市構想」を平成13年に策定し、九州経済連合会、福岡県、福岡市、糸島市、九州大学で構成する九州大学学術研究都市推進協議会を中心に、学術研究都市の実現に取り組んでいます。

6 まちづくりの基本目標 (戦術)

○3つのまちづくり基本方針(戦略)に基づき、本市のまちづくりを総合的・効果的に展開していくため、6つの基本目標(戦術)を設定します。



まちづくりで大切にすること

乳幼児期から、よく遊び、よく学び、人とつながり、地域とつながり、糸島を大切に想う気持ちを育んだ子どもたちが、それぞれの個性を生かしながら、自らの可能性を信じ、自己実現に向けて成長していけることを大切にします。

1. 未来社会で輝く子どもを育むまちづくり

5. ブランド糸島で 活気あふれる まちづくり



まちづくりで大切にすること

自然環境や新鮮な農林水産物などの強みを生かし、“ブランド糸島”のさらなる向上や産学官民連携の強化を図るとともに、テレワークなど、多様な働き方を促進することにより、地域経済・産業が活気に溢れ、糸島のしごとの魅力を高め、糸島で働くことに誇りが持てることを大切にします。

6. 快適で住みよい まちづくり



まちづくりで大切にすること

自然と都市の調和を図り、地域資源を生かしながら、都市部、農村部、漁村部、山間部など、各地域の特色に応じて、住環境や生活環境の快適性を高めていくことを大切にします。

○着実に重点課題に対応し、基本目標を実現していくには、それをしっかりと下支える健全な財政運営はもちろん、多様な主体と共創・協働・連携を図りながら、将来的な人口減少を見据え、社会・経済情勢に対応した経営的・戦略的な行政経営を展開する必要があります。

行政経営戦略

7

政策推進マネジメント

各政策・施策の達成に向けて、最小の経費で最大の効果をあげるため、政策推進マネジメントを展開します。

財務マネジメント

限られた行政資源の中、健全で規律ある財政運営を堅持し、市民が必要とする政策・施策を実行していくため、財務マネジメントを展開します。

公共施設マネジメント

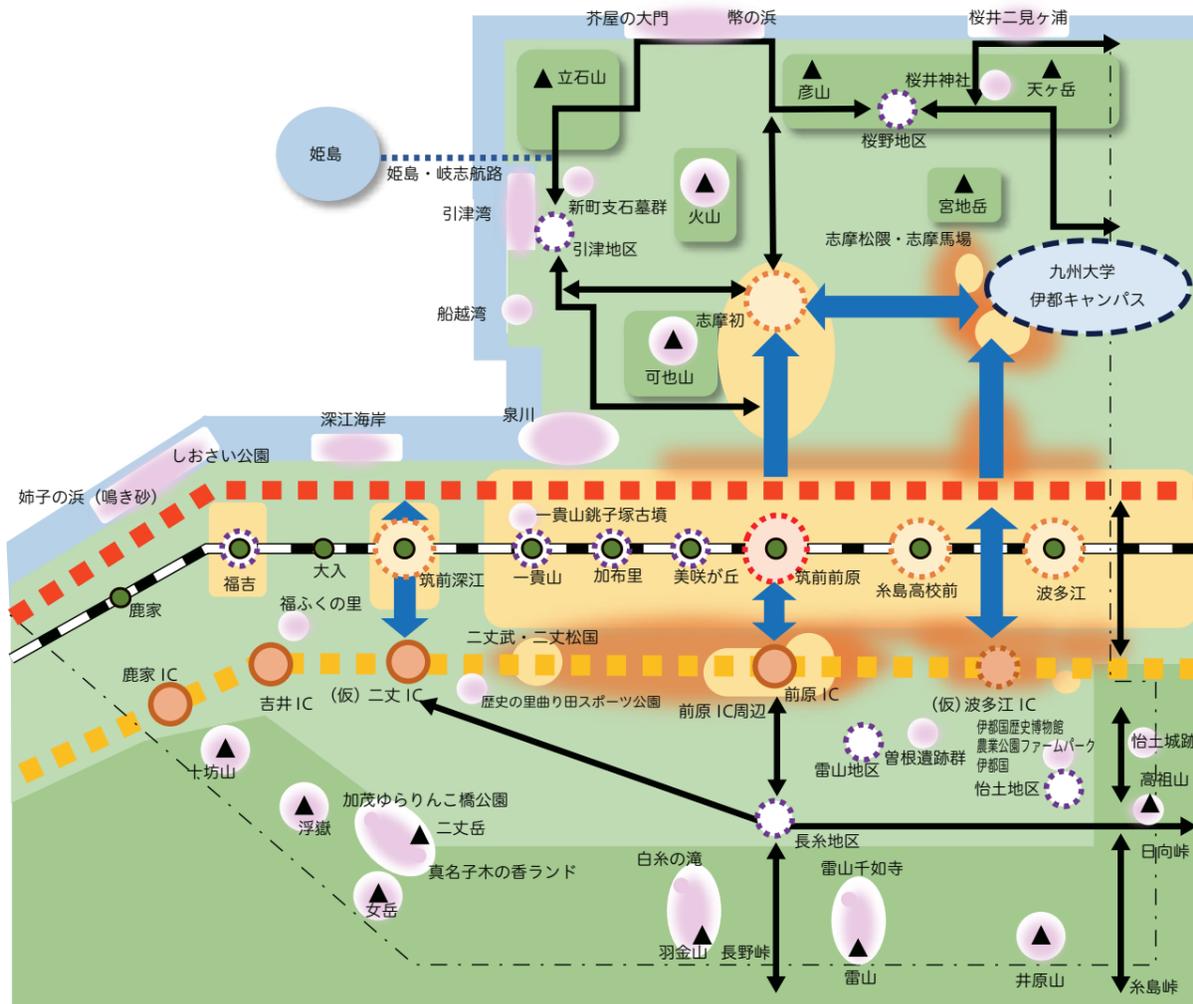
公共施設の統廃合や機能集約を行うことにより、質の高いサービス提供や幅広い市民の交流を促進するとともに、施設の計画的な維持・更新と最適な施設配置に向けて、公共施設マネジメントを展開します。

8

土地利用の 基本方針と 将来都市構造

本市が目指す将来像の実現のため、本市の自然環境や地理的条件、土地利用の現状を踏まえ、都市と自然がバランスよく調和した計画的な土地利用を推進するとともに、市街地、九州大学周辺、農山漁村など、それぞれの地域が持つ特性を生かした土地利用を目指します。

将来都市構造図（イメージ図）



【土地利用及び拠点ゾーン】

- 広域拠点
- 地区拠点
- 都市的整備ゾーン
- 都市的誘導ゾーン
- 学術拠点 (九州大学伊都キャンパス)
- 生活拠点
- 農業・農村振興ゾーン
- 森林保全ゾーン
- 玄界灘海岸ゾーン
- 観光・レク・交流ゾーン

【連携軸】

- 広域連携軸一般国道202号
- 広域連携軸一般国道202号バイパス・西九州自動車道
- インターチェンジ（構想）
- ↔ 拠点連携軸
- ↔ 地域ネットワーク道路

基本構想

基本計画

将来像

まちづくりの基本方針
【戦略】

まちづくりの基本目標
【戦術】

政策

施策

人とまちの魅力が輝く豊かさ実感都市いとしま

糸島づくり
自立度の高い

糸島づくり
魅力を
磨き上げる

糸島づくり
住みやすい・
住み続けたい



将来人口
104,000
人

1 未来社会で輝く
子どもを育むまちづくり

2 人と人がつながり
助け合うまちづくり

3 みんなの命と
暮らしを守るまちづくり

4 健康で安心して
暮らせるまちづくり

5 ブランド糸島で
活気あふれるまちづくり

6 快適で
住みよいまちづくり

- (1) 子育て・親育ちの支援の充実
- (2) 保育・学校教育の充実
- (3) 切れ目のない学習機会の充実

- (1) コミュニティの活性化
- (2) 人口減少地域対策
- (3) 男女共同参画・人権・多文化共生の推進

- (1) 災害対策
- (2) 消防・救急の充実
- (3) 防犯・交通安全の推進

- (1) 包括的な地域福祉の推進
- (2) 健康・医療の充実
- (3) 支援を必要とする人たちへの福祉の充実

- (1) 農林水産業の振興
- (2) 地域経済の活性化
- (3) 観光の成長産業化
- (4) 企業誘致の促進

- (1) 都市機能の充実
- (2) 交通環境の充実
- (3) 道路などの整備
- (4) 上下水道の整備
- (5) 環境の保全

- ① 安心して生育てられる環境の充実 ② 妊娠から出産・子育ての切れ目のない支援
- ① 家庭や地域と連携した教育の充実 ② 児童・生徒の学力や体力の向上
- ③ 特別支援教育の充実と楽しい学校生活の創出 ④ 安全・安心に学習できる教育環境の整備
- ① 生涯学習の推進とスポーツの振興 ② 青少年の健全育成
- ③ 文化・芸術の振興

- ① 地域コミュニティの機能強化 ② NPO・ボランティアの育成
- ① 移住・定住の促進 ② 多様な地域の担い手の確保
- ① 男女共同参画社会の推進 ② 人権が尊重される社会の推進
- ③ 多文化共生社会の推進

- ① 地域の防災力の強化 ② 防災・減災基盤の整備
- ① 消防力の強化 ② 救急体制の充実
- ① 地域の防犯力の向上 ② 交通安全対策の強化

- ① 地域福祉活動の充実 ② 新しい地域包括支援体制の構築
- ③ 地域で見守り、支え合う仕組みづくり
- ① 市民の健康管理体制の充実 ② 地域と連携した健康づくりの推進
- ③ 保健・医療・介護ネットワークの構築
- ① 高齢者の社会参加支援 ② 高齢者の介護予防と自立した生活の支援
- ③ 障がい者福祉の充実

- ① 農林水産業の活性化 ② 農林水産物のブランド強化 ③ 担い手育成
- ① 未来を担う企業の創出と育成 ② 域内経済循環の推進
- ① 地域資源を生かした観光の振興 ② おもてなし環境の充実
- ① 企業から選ばれるまちの創出 ② 新産業を創出する学術研究都市づくり

- ① 良好な住環境の創出と都市的土地利用の促進 ② 快適な公園の整備
- ① 公共交通網の充実
- ① 都市の骨格となる道路ネットワークの整備
- ② 道路などの安全対策とバリアフリー化 ③ 道路・橋の長寿命化
- ① 安全で安定的な水の供給 ② 地域の状況に適した下水道の整備
- ③ 浸水被害対策の推進
- ① 豊かな自然環境の保全 ② 再生可能エネルギーの推進と循環型社会の形成

重点課題

- ☑ 1. 子育て・教育環境の充実
- ☑ 2. 防災・減災対策
- ☑ 3. 経済活性化（稼ぐ）への取組
- ☑ 4. 学術研究都市づくり
- ☑ 5. 超高齢社会への対応

重点課題プロジェクト

- 1 “社会とつながる”
子育て応援
プロジェクト
- 2 市民一人ひとりの防災力が
高いまち“いとしま”
プロジェクト
- 3 “糸島ごと”の
ブランド化
プロジェクト
- 4 “糸島サイエンス・ヴィ
レッジ”実現化
プロジェクト
- 5 元気な高齢者が地域で
活躍し、暮らせるまち
プロジェクト

行政経営戦略

(1) 政策推進マネジメント

- 施策① 行政改革の推進
- 施策② 効果的な組織づくりと経営感覚を持った職員育成
- 施策③ 民間事業者や大学と連携した課題解決

(2) 財務マネジメント

- 施策① 自主財源の確保
- 施策② 規律ある健全な財政運営

(3) 公共施設マネジメント

- 施策① 公共施設の長寿命化と最適な配置
- 施策② 多様な入札・契約手法の導入

Itoshima City

第2次糸島市長期総合計画〔概要版〕

発行：令和3年3月／糸島市企画部経営戦略課

〒819-1192 福岡県糸島市前原西1丁目1-1

092-323-1111（代表）

<https://www.city.itoshima.lg.jp>



information

販売も
あります



第2次糸島市
長期総合計画の
本編はこちらから
確認できます。